

タバコ使用障害 Tabacco Use Disorder

- A. 臨床的に重大な障害や苦痛を引き起こすタバコ使用の不応的な様式で、以下の2つ以上が、同じ12ヶ月の期間内のどこかで起こることによって示される。
- 1 タバコをはじめのつもりよりも大量に、またはより長い期間、しばしば使用する
 - 2 タバコを中止、または制限しようとする持続的な欲求または努力の不成功のあること
 - 3 タバコを得るために必要な活動、またはタバコ使用に費やされる時間の大きいこと
 - 4 タバコの使用に対する渴望・強い欲求または衝動
 - 5 タバコの反復的な使用の結果、仕事・学校または家庭の重大な役割義務を果たすことができなくなった。（例、仕事に支障が生じる）
 - 6 持続的あるいは反復的な、社会的なまたは対人関係の問題がタバコの影響により引き起こされたり悪化したりしているにもかかわらずタバコ使用が持続（例、喫煙について口論になる）
 - 7 タバコの使用のために重要な社会的、職業的または娯楽的活動を放棄、または減少させていること
 - 8 身体的危険のある状況でタバコを反復使用する（例、ベッドでの喫煙）
 - 9 精神的または身体的問題が、タバコによって持続的または反復的に起こり、悪化しているらしいことを知っているにもかかわらず、タバコ使用を続けること
 - 10 耐性、以下のいずれかによって定義されるもの：
 - a. 期待する効果を得るために、著しく増大した量のタバコが必要
 - b. 同じ量のタバコの持続使用で効果が著しく減弱
 - 11 離脱、以下のいずれかによって定義されるもの
 - a. タバコに特徴的な離脱症候群がある（タバコ離脱の基準AとBを参照）
 - b. 離脱症状を軽減したり回避したりするために、タバコ（またはニコチン等の密接に関連した物質）を摂取する

現在の重症度を特定せよ：

軽度 Mild： 基準の2つか3つを満たす

中等度 Moderate： 基準の4つか5つを満たす

重度 Severe： 基準の6つ以上を満たす

該当すれば特定せよ：

早期寛解にあるもの In early remission： 以前にタバコ使用障害の基準を完全に満たし、その後にタバコ使用障害の基準（A 4「タバコの使用に対する渴望・強い欲求または衝動」以外）のいずれも満たさない時期が3ヶ月以上12カ月未満の間あったもの

持続した寛解にあるもの In sustained remission： 以前にタバコ使用障害の基準を完全に満たし、その後にタバコ使用障害の基準（A 4「タバコの使用に対する渴望・強い欲求または衝動」以外）のいずれも満たさない時期が12ヶ月以上あったもの。

該当すれば特定せよ

維持治療中である On maintenance therapy： ニコチン置換療法などの長期の維持治療を受けている者で、治療によりタバコ使用障害の基準を（ニコチンの投薬への耐性またはニコチンの投薬からの離脱以外のもの）のいずれも満たさない者。

管理された環境下にある In a controlled environment： この付加的な特定用語はタバコの使用が制限された環境にいる人に用いられる。